

暫定版「改革工程表(2023)」へのコメント

1. 評価できる点

- カーボンプライシングについて明記された点
- GX投資の再分類・整理を行おうとしている点

2. KPI設定について

- 数値目標ではなく評価基準に基づき事後評価を行うことを明記
- 適正な評価基準は①GHG排出削減量, ②費用対効果, ③投資リターン(収益指標である必要無し)の三つ
- 直接削減効果を目的としない技術に関しては別指標で評価

3. 成長型カーボンプライシングについて

- 炭素賦課金についての記載がない
- 「日本型」排出量取引について
 - 外部クレジット重視から内部クレジット重視へ
 - 内部クレジットの制度設計不足
 - 無償配分≠自主枠設定